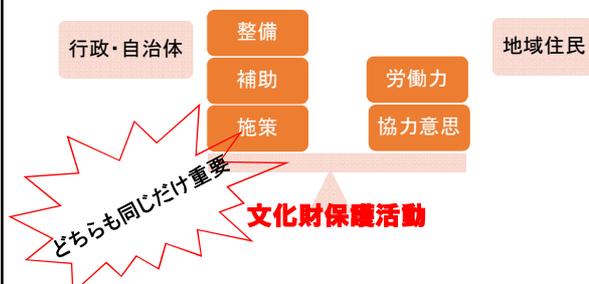


CVM評価額から見た地域住民の文化財保護活動への協力意思 -長岡市摂田屋地区の事例-

11310049 人文地理学研究室4年 金内結人

○ 研究目的

地域住民の文化財保護活動への協力意思を規定する要因
何がその協力意思を妨げているのか



I. はじめに

○ 問題の所在

文化財保護法

1949年 文化財保護法制定

修繕は原則所有者か
管理団体が責任をもって
行うことになっている

文化財を分類し、重要性を考慮し選定を行い
修繕や保護を行う上で経費の一部を国が負担するように

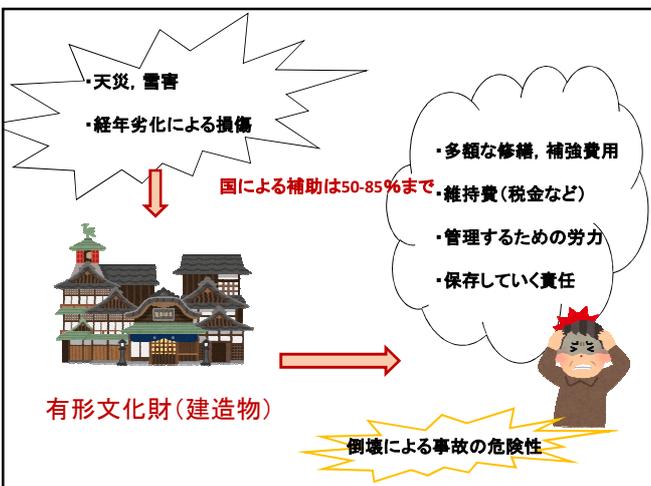
(2016年11月で10,477件の建造物が国登録有形文化財に選定)

○ 研究方法

CVM(仮想市場評価法)

仮想のシナリオを提示し、それに対して幾らなお金や労力を割けるか尋ねる

本来経済的価値が評価しにくいものに対し社会・経済評価を行う方法



CVMに関する質問

1. これは仮の話です。現在行われている活動は考慮せずにお考え下さい。
この地域の住民による「摂田屋地区景観保全基金」が設けられるとします。

この基金を活用して文化財の修繕、周辺環境の保全が行われ、摂田屋地区
旧三国街道沿いに文化財の残る歴史的情緒のある独特の景観を守り、
天災などによる倒壊や風化による滅失の危険性を回避するものとします。

また、将来も持続的に文化財を残していくべく基金を活用して
文化財の観光利用や、町内外の交流の場などとしても整備されるとします。

仮にこの基金が設けられるとしてあなたはこの活動に幾らまでなら
基金による負担金を負担してもいいと感じますか？
また支払いは1年に1回、5年間続きます。集められた金額は全て保存活動の運営、
保存のための必要機材の購入などへ充てられるものとします。

(選択肢)
0円 100円 500円 1000円 2000円
5000円 8000円 10000円 15000円 2万円以上

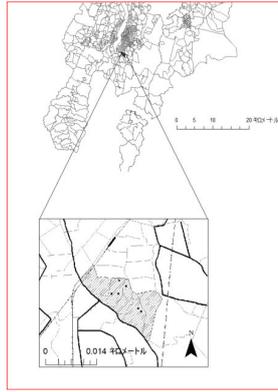
II. 調査対象概要

○ 調査対象地

長岡市の中央部地区撰田屋醸造蔵が集中している地域

第二次世界大戦の戦災を逃れ古い建物が残っている。

旧三国街道沿いで信濃川の支流も近くに流れ醸造などの産業で栄えた地域



(図中の点は撰田屋内の文化財の位置を表す)

IV. 調査結果と考察



○ 調査結果

調査対象者 : 撰田屋地区を歩いていた通行人

調査日程 : 11月4～6日

調査人数 : 26名

調査時間 : 一人当たり5～10分

○ 調査対象財概要

- ・機那サフラン酒製造本舗
- ・星六味噌
- ・星野本店
- ・長谷川酒造
- ・吉野川酒造
- ・越のむらさき

国指定登録有形文化財



居住地区別のサンプル数

居住地区		
撰田屋1丁目	7	
2丁目	3	
3丁目	7	
4丁目	1	50%
撰田屋以外	13	50%
総計	26	100%

年齢ごとのサンプル数

年齢	サンプル数
20代	3
30代	7
40代	1
50代	3
60代	7
70代	2
80代以上	3
総計	26

支払い意思額ごとのサンプル数

支払い意思額	
0	4
1-999	6
1,000-1,999	7
2,000-2,999	2
3,000-3,999	2
4,000-9,999	3
10,000以上	2
総計	26

III. 撰田屋地区の文化財保護活動とNPO法人

○ 「醸造の町撰田屋まちおこしの会」

→ 撰田屋地区の町おこしや文化財保護を行う団体

○ 「機那サフラン酒本舗保存を願う市民の会」

→ 機那サフラン酒本舗の保護を目的とした団体

○ 「撰田屋こへび隊」

→ 長岡造形大学生有志による撰田屋町おこし団体



撰田屋こへび隊
マスコットキャラクター

・WTPとWTP決定理由に注目して

配布資料の表をご覧ください



V. おわりに

○ CVMから見た文化財保護活動を支える協力意思

- ・周辺に住む人にとって愛着や思い入れは大きい
- ・地域住民でなくても価値を認めている

何が協力意思を妨げているのか

- ・まだあまり広く知られていない現状
- ・周辺設備のまだ整っていない現状

→ 文化財の修繕も必要だがそれ以外のことが優先ではないか？



○ 今後の展望について

文化財の価値について聞いたが
全員が撰田屋地区の文化財の良さ、価値を
認めており、保存するべきであるとは思っている



→ 文化財中心の観光地としてはまだ歴史が浅い
長岡市観光の拠点として周辺設備の整備はこれからの段階

小さいくりの中でも地域に住む住民と、地域外に住む住民の意識の違い
評価額の決定を妨げる要因は違っていることが分かった。

その違いも考慮し、違うアプローチを行い参加協力を募ることが
効果的に地域、地域外の住民に対し効果的なのではないだろうか